

Reducing space threats through norms, rules, and principles of **responsible behaviours****責任ある行動**の規範、規則及び原則を通じた宇宙における脅威の低減 決議

- 英主導で2020年から国連総会第一委員会に提出している決議。
- 宇宙における脅威を低減するための**責任ある行動**に関する議論の進展を奨励。

<経緯・背景>

- 持続的かつ安定的な宇宙利用に関するリスクが増大する中、実効的なルール作りを進め、宇宙空間における軍備競争を防止する観点から、2020年、英が客観的に評価可能な「行動」に焦点を当てた新たなアプローチを提案。有志国(日、英、米、仏、独、加、豪、NZ、韓)で議論を重ね、同年の国連総会第一委員会に決議案を提出。
- 2020年の国連総会決議に基づき、各国が責任ある行動に関する意見書を提出。各国からの意見を踏まえ、同年8月に国連事務総長報告書が発出され、責任ある行動に関する更なる国際的な議論を継続すべく、2021年に英主導で国連総会決議を提出。

<2021年の国連総会に提出・採択された決議>

➤ 主な内容

2022年から2023年にオープンエンド作業部会を設置。

- ・既存の国際法の評価や宇宙システムに対する安全保障上のリスク、無責任と考えられる行動等を検討。
- ・「責任ある行動」に関するルール・規範等につき、2023年国連総会への報告書提出を目指す。
- ・参加主体として、国連全加盟国、政府間組織等のほか、国際組織や民間の参加も想定。

➤ 投票結果(国連総会本会議)

賛成150(含我が国)ー反対8(中国、ロシア等)ー棄権9(インド等)

➤ 我が国の立場

原共同提案国として本決議を支持、有志国メンバーとして今後のプロセスを推進